



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

東

上場会社名 HOUSEI 株式会社

上場取引所

コード番号 5035

URL <https://www.housei-inc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 管祥紅

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員管理本部長

(氏名) 羽入友則 (TEL) 03(4346)6600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	3,501	0.6	△16	—	△16	—	△229	—
2024年12月期第3四半期	3,481	2.7	△41	—	△20	—	△20	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △275百万円(—％) 2024年12月期第3四半期 4百万円(△97.1％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△33.55	—
2024年12月期第3四半期	△2.93	—

(注) 2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	4,594	2,972	64.4
2024年12月期	5,134	3,303	64.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,956百万円 2024年12月期 3,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	4,827	△1.9	0	△100.0	23	△82.1	△187	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 0社 (社名) 、除外 0社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期3Q	7,094,200株	2024年12月期	7,094,200株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	256,810株	2024年12月期	196,810株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期3Q	6,847,606株	2024年12月期3Q	7,068,831株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは、「IT partner to achieve DX:DXを実現するITパートナーとして、メディア業界で培った成功経験やノウハウを活かし、世界中から先進技術を取り入れて、日本産業が弱いとされるIT分野の強化に貢献する。」をミッションとして掲げております。

このミッションの下、当第3四半期連結累計期間において、AIエージェントによるデータ分析生成を可能にするAIチャット型BI「imprai ezBI」をリリースいたしました。生成AIローコード開発プラットフォーム「imprai」についても、生成AI検索エンジン「Perplexity AI」とLLM（大規模言語モデル）「DeepSeek R1」の搭載、「Googleドライブ」や「Box」とのAPI連携、アリババクラウドの最新LLM「QWQ-32B」の搭載、コミュニケーションツール「Microsoft Teams」との連携などの機能拡張をいたしました。Web 広告などの法令遵守と運用効率を支援する新サービス「imprai ezCheck」（インプライ イージーチェック）の提供も開始いたしました。

さらに、物流倉庫の自動化・省人化を推進するため、上海GLOBL智能科技株式会社と協業し、日本市場向けにスマート倉庫システムの提供を開始し、日本市場に特化して新たに開発した4方向パレットシャトル「OmniXuttle（オムニシャトル）」の提供も開始いたしました。

また、AI（人工知能）・ITを活用したHOUSEIの省力化店舗運営支援サービス「無人店舗ソリューション」は三洋堂書店24店舗、その他9店舗に導入されています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、3,501,232千円（前年同四半期比19,346千円増、同0.6%増）の増収、売上総利益についても1,077,766千円（前年同四半期比57,618千円増、同5.6%増）の増益となりました。人員を増強したことによる人件費増などにより、販売費及び一般管理費は前年同四半期比で32,488千円増加し、営業損失は16,300千円（前年同四半期は41,430千円の営業損失）となりました。中国元安に伴う為替差損を営業外費用で計上したことなどにより、経常損失は16,682千円（前年同四半期は20,428千円の経常損失）となりました。国内IT事業に属するアイード株式会社に係るのれん減損損失206,428千円を特別損失として計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は229,735千円（前年同四半期は20,737千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内IT事業

国内IT事業は当社、アイード株式会社、SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社で展開しております。売上高は3,137,475千円（前年同四半期比127,352千円増、同4.2%増）の増収となりましたが、日本国内の物価上昇の影響などにより、営業損失は38,204千円（前年同四半期は558千円の営業損失）の減益となりました。

② 海外IT事業

海外IT事業は璞華国際科技（武漢）有限公司、璞華供給鎖（蘇州）有限公司及び方正環球科技有限公司で展開しております。売上高は大型案件の売上計上時期が第4四半期にずれ込んだことなどにより363,757千円（前年同四半期比108,006千円減、同22.9%減）の減収となりましたが、円安元高を反映した取引単価の引き上げ、請負開発案件の原価率の改善などにより、営業損失は5,952千円（前年同四半期は31,892千円の営業損失）と損失幅が減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,594,030千円と前連結会計年度末から540,880千円減少しました。

流動資産は、主に現金及び預金が827,954千円、仕掛品が72,857千円それぞれ増加した一方で、契約資産が563,424千円、受取手形及び売掛金が387,942千円、その他が109,373千円それぞれ減少したことなどにより144,035千円減少して2,964,412千円となりました。

固定資産は、主にのれんが355,925千円、有形固定資産が64,022千円減少したことなどにより396,844千円減少して1,629,618千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末から210,521千円減少して1,621,230千円となりました。

流動負債は、主にその他が173,058千円増加した一方、短期借入金が234,613千円、支払手形及び買掛金が175,474千円それぞれ減少したことなどにより241,521千円減少して1,046,068千円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が37,121千円増加したことなどにより31,000千円増加して575,161千円となりました。

(純資産)

純資産の部では、利益剰余金が250,427千円、為替換算調整勘定が44,971千円、自己株式が34,449千円それぞれ減少したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は330,359千円減少して2,972,799千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当初公表の計画（2025年2月13日発表）を以下の通り修正いたします。

1. 2025年12月期 連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (△は損失)	1株当たり 当期純利益 (△は損失)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,600	300	300	230	33.35
今回修正予想 (B)	4,827	0	23	△187	△27.34
増減額 (B-A)	△773	△300	△277	△417	—
増減率 (%)	△13.8	△100.0	△92.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	百万円 4,918	百万円 78	百万円 128	百万円 125	円 銭 17.88

2. 修正の理由

売上高につきましては、4,827百万円に下方修正いたします。主な要因は、国内IT事業セグメントにおいて、①一部の大手顧客の売上高が想定を218百万円程度下回る見通しであること、②今期中に受注を予定していた大型請負案件の受注時期がずれ、今期中に計上できる売上高が80百万円程度減少したこと、③AI関連プロダクト・サービスの売上高が想定を322百万円程度下回る見通しであること、④新たな事業として開始したAI用高性能サーバー等の輸入販売について、80百万円程度の売上高を見込んでおりましたが、市場環境の変化により取引を予定していた見込客の購買意欲が減退し、受注の見通しが立たなくなったため、営業活動を中止していること、などであります。

上記①～④の売上高の減少、本社事務所賃料の値上げ、来春予定の本社事務所移転に伴う減価償却費の追加計上の影響などにより、売上総利益も398百万円減少する見込みであります。上記③④の部門の営業人員の削減により販売費を抑制したことなどにより、営業利益は300百万円減少の0百万円、経常利益は277百万円減少の23百万円に下方修正いたします。

さらに、教育機関向けに英語スピーキング学習サービスを営む連結子会社（アイード株式会社）について、中期事業計画通りの収益を上げることができていないため、のれん未償却残高206百万円をのれん減損損失として計上いたします。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は187百万円となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されております。

実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	840,288	1,668,243
受取手形及び売掛金	854,263	466,321
契約資産	1,046,645	483,221
商品及び製品	11,935	25,934
仕掛品	104,953	177,811
原材料及び貯蔵品	483	136
その他	255,033	145,659
貸倒引当金	△5,156	△2,915
流動資産合計	3,108,447	2,964,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	961,452	926,414
工具、器具及び備品	308,385	203,642
減価償却累計額	△407,029	△331,271
有形固定資産合計	862,808	798,786
無形固定資産		
のれん	979,256	623,330
ソフトウェア	68,260	85,290
ソフトウェア仮勘定	8,726	33,649
無形固定資産合計	1,056,242	742,270
投資その他の資産		
長期貸付金	137	1,514
繰延税金資産	31,465	27,004
長期前払費用	16,846	7,560
敷金及び保証金	53,922	47,441
その他	5,040	5,040
投資その他の資産合計	107,412	88,561
固定資産合計	2,026,462	1,629,618
資産合計	5,134,910	4,594,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	266,051	90,577
短期借入金	234,613	—
1年内返済予定の長期借入金	158,212	161,501
未払法人税等	18,080	6,007
賞与引当金	108,397	112,164
受注損失引当金	—	524
その他	502,234	675,293
流動負債合計	1,287,590	1,046,068
固定負債		
長期借入金	381,939	419,060
退職給付に係る負債	156,388	153,738
その他	5,834	2,363
固定負債合計	544,161	575,161
負債合計	1,831,751	1,621,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	656,142	656,142
資本剰余金	1,124,299	1,124,299
利益剰余金	1,319,749	1,069,322
自己株式	△85,473	△119,923
株主資本合計	3,014,717	2,729,840
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	272,007	227,036
その他の包括利益累計額合計	272,007	227,036
非支配株主持分	16,434	15,923
純資産合計	3,303,158	2,972,799
負債純資産合計	5,134,910	4,594,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,481,886	3,501,232
売上原価	2,461,738	2,423,466
売上総利益	1,020,147	1,077,766
販売費及び一般管理費	1,061,577	1,094,066
営業損失(△)	△41,430	△16,300
営業外収益		
受取利息	3,250	1,113
為替差益	7,691	—
補助金収入	16,488	16,623
その他	588	2,954
営業外収益合計	28,019	20,691
営業外費用		
支払利息	6,606	6,704
為替差損	—	12,862
支払手数料	409	235
その他	—	1,270
営業外費用合計	7,016	21,073
経常損失(△)	△20,428	△16,682
特別利益		
投資有価証券売却益	6,127	—
特別利益合計	6,127	—
特別損失		
のれん減損損失	—	206,428
固定資産除却損	336	482
特別損失合計	336	206,911
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,637	△223,593
法人税、住民税及び事業税	7,560	2,191
法人税等調整額	△1,348	4,460
法人税等合計	6,211	6,652
四半期純損失(△)	△20,849	△230,246
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△111	△511
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,737	△229,735

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失 (△)	△20,849	△230,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△870	—
為替換算調整勘定	26,494	△44,971
その他の包括利益合計	25,623	△44,971
四半期包括利益	4,773	△275,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,885	△274,706
非支配株主に係る四半期包括利益	△111	△511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT事業	海外IT事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,010,122	471,763	3,481,886	—	3,481,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,684	661,649	687,333	△687,333	—
計	3,035,806	1,133,413	4,169,220	△687,333	3,481,886
セグメント利益又は損失(△)	△558	△31,892	△32,450	△8,979	△41,430

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△8,979千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外IT事業」セグメントにおいて、2024年1月1日付で当社連結子会社である璞華国際科技(武漢)有限公司がWEB及びソフトウェア開発及びシステムコンサルティング事業を展開する璞華科技有限公司より、中国国内の金融業界向け情報システム事業を譲り受けいたしました。当該事象によるのれんの増加額は394,277千円であります。

また、「海外IT事業」セグメントにおいて、2024年1月26日付で当社の連結子会社である璞華国際科技(武漢)有限公司が、方正環球科技有限公司の100%持分を取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は26,579千円であります。

なお、上記の企業結合について、取得原価の配分が確定していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額に変動はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT事業	海外IT事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,137,475	363,757	3,501,232	—	3,501,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,102	726,389	744,491	△744,491	—
計	3,155,577	1,090,146	4,245,724	△744,491	3,501,232
セグメント利益又は損失(△)	△38,204	△5,952	△44,157	27,857	△16,300

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額 27,857千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内IT事業」セグメントにおいて、教育機関向けに英語スピーキング学習サービスを営む連結子会社について、計画通りの収益を上げることができていないため、のれん未償却残高206,428千円を特別損失ののれん減損損失に計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	62,184千円	63,743千円
のれんの償却費	125,417千円	124,612千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、売上高をセグメント情報の報告セグメントの区分に基づき分解するとともに、情報システムセグメントについては、さらに契約類型により分解しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	国内IT事業	海外IT事業	計
請負	1,021,287	301,074	1,322,362
プロダクト	179,907	135,239	315,147
準委任及び保守	1,602,656	21,696	1,624,353
その他	206,270	13,752	220,023
顧客との契約から生じる収益	3,010,122	471,763	3,481,886
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,010,122	471,763	3,481,886

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	国内IT事業	海外IT事業	計
請負	1,053,757	175,854	1,229,611
プロダクト	166,353	141,852	308,205
準委任及び保守	1,656,416	13,321	1,669,738
その他	260,948	32,728	293,677
顧客との契約から生じる収益	3,137,475	363,757	3,501,232
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,137,475	363,757	3,501,232